

## 1 日程

令和5年11月3日(金・祝)～5日(日)  
10:00～16:00(最終日は15:00まで)

日程	31日 (火)	1日 (水)	2日 (木)	3日 (金・祝)	4日 (土)	5日 (日)	6日 (月)
	準備期間			文化祭期間			撤収
展示 中央 体育館	会場設営	会場設営 手直し・作品 搬入受入準備	作品搬入 飾り付け	展覧会	展覧会	展覧会 作品搬出	会場撤収
開会式 活動発表 かくや姫 ホール				開会式 活動発表	参加体験型 教室		休館日

## 2 開会周知

### ・町ホームページ

### ・広報「こうりょう」

出展募集記事掲載(9月号)  
文化祭開催チラシ挟み込み(10月号)

### ・ポスター掲示

各区・自治会長あてに掲示依頼。  
公共施設、学校・園、南都銀行(馬見支店、  
箸尾支店)、農協(広陵支店、広陵北支店)、  
郵便局(疋相、瀬南、真美ヶ丘北、真美ヶ  
丘南、箸尾)、商業施設(イズミヤスー  
パーセンター、エコーン・マミ、スーパーエ  
バグリーン、DCM広陵店)



## 3 開会式(3日)

### ● 式典

- 1 主催者あいさつ
- 2 来賓祝辞
- 3 来賓紹介
- 4 主催者紹介
- 5 ポスターデザイン表彰式
- 6 開会宣言



### ポスターデザイン表彰式

採用作品1点、入選作品  
10点を選考し、対象者を  
表彰。

副賞として図書カード  
(採用者3,000円、入選者  
1,000円)を贈呈。

応募作品は、プリントア  
ウトして全作品を文化展覧  
会で展示。

応募作品数: 125作品 採用: 1点 入選: 10点

【採用作品】1点

広陵中学校 2年  
竹村桃音さん



○広陵中学校 1,21作品  
○真美ヶ丘中学校 4作品

計 125作品  
※今回募集した中学校は希望  
書の出題のため、作品数が  
少なくなっている。

【入選作品】10点

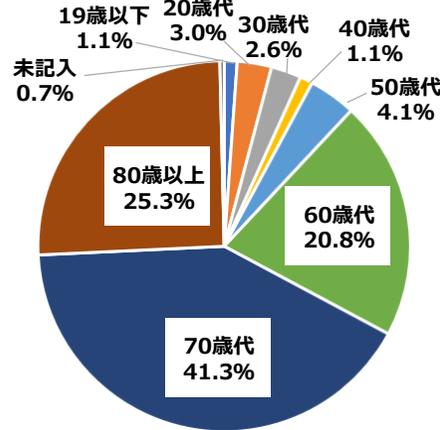




### (3) 一般の部出展者の状況

#### ア 出展者の年齢区分

年齢区分	出展者数	割合
19歳以下	3人	1.1%
20歳代	8人	3.0%
30歳代	7人	2.6%
40歳代	3人	1.1%
50歳代	11人	4.1%
60歳代	56人	20.8%
70歳代	111人	41.3%
80歳以上	68人	25.3%
年齢未記入	2人	0.7%
<b>合計</b>	<b>268人</b>	<b>100%</b>



70歳代が最も出展者が多い。60歳代から80歳以上の年齢区分が87.4%を占める一方、それ以外の年齢層の出品が少ない。特に19歳以下及び40歳代の出展が少ない。

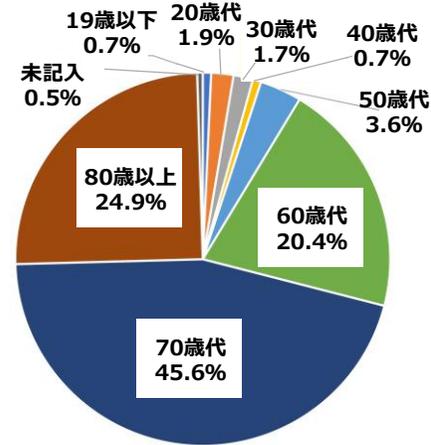
#### イ 出展経験

出展回数	人数	割合
2回以上	233人	86.9%
初出展	34人	12.7%
未記入	1人	0.4%
<b>合計</b>	<b>268人</b>	<b>100%</b>

リピーターが多く占める一方、初出展が12.7%あり、一定の新規出展者がある。今回、初めての調査であったが、継続的に動向をつかみ、新規出展に結びつく取組が必要。

#### ウ 年齢別出展数

年齢区分	出展数	割合
19歳以下	3点	0.7%
20歳代	8点	1.9%
30歳代	7点	1.7%
40歳代	3点	0.7%
50歳代	15点	3.6%
60歳代	85点	20.4%
70歳代	190点	45.6%
80歳以上	104点	24.9%
年齢未記入	2点	0.5%
<b>合計</b>	<b>417点</b>	<b>100.0%</b>



#### エ 複数出展者の状況

年齢区分	複数出展者数	複数出展割合	出展者計
19歳以下	0人	0.0%	3人
20歳代	0人	0.0%	8人
30歳代	0人	0.0%	7人
40歳代	0人	0.0%	3人
50歳代	4人	36.4%	11人
60歳代	29人	51.8%	56人
70歳代	78人	70.3%	111人
80歳以上	36人	52.9%	68人
年齢未記入	0人	0.0%	2人
<b>合計</b>	<b>147人</b>	<b>54.9%</b>	<b>268人</b>

### (4) 福祉施設関係出展まとめ

部門	施設名等	点数	備考
その他の部	すみれ作業所	1	合同作品（貼り絵）
	第2すみれ作業所	1	個人作品（書道）
	サロンふきのとう	16	個人作品（小物）
	グループホーム ふれあい広陵	1	合同作品（貼り絵）
	大和園ちあふる	2	合同作品（折り紙・塗り絵）
	大和園ちあふる（個人）	2	ちぎり絵
工芸の部	第2すみれ作業所	1	個人作品
	第2すみれ作業所	2	合同作品

施設区分	点数
障がい者施設	5点
高齢者施設	21点
計	26点

個人作品だけでなく、合同作品による出品もある。

コロナ禍前から出展のある施設からの作品に加え、新たな施設からの出展があったが、町内の多くの施設からの出展とまではいえない。

作品の搬出入等の負担はあるが、多くの方に作品や施設のことを知ってもらえる機会にもつながるため、より多くの出展につなげられるよう、文化展覧会の出展について、広報周知するとともに、出展に当たっての障壁となっているものについて把握し、解決するよう進める必要がある。

### 7 園児作品展（3日～5日）

町内幼稚園、こども園及び保育園児童の作品（0～2歳児は保育の様子分かる展示）を中央体育館格技場に展示。コロナ禍中は、それぞれの園内での展示であったが、制限が解除されたことから、作品展を再開。

新たに開園した畿央大学付属広陵こども園の作品が加わった。



### 8 今後の検討課題

令和5年度から文化展覧会の出展申込書に年代区分の記載を求め、一般の部の出展者の年代データを集めたところ、若い世代から40歳代にかけての出展が少ないことが明らかとなった。

作品作りのための時間を作り出しにくい年代ではあるが、若い世代が作品を出してみようと思う仕掛けづくりが必要と考える。

- ・若者が出展してみようと思う部門の新設  
(デジタル作品、デザイン、イラスト作品等)

- ・畿央大学や大和広陵高校への出展呼びかけ。  
書道部の書道パフォーマンスや美術部によるアートパフォーマンス、体育観客席（250席）を用いたアート等、目を引く作品を採り入れる。